

3 地震・火山災害

3. 1 2009 年の噴火活動

・ 3 月 10 日の桜島・昭和火口の噴火

桜島・昭和火口では 2009 年 2 月以降、爆発的噴火※¹が繰り返し発生していましたが、3 月 2 日 06 時 53 分に発生した爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 4 合目（昭和火口から 800m から 1300m）まで達しました。また、大隅河川国道事務所が有村に設置している傾斜計の観測では、山体の膨張と考えられるわずかな変化が認められました。このため、気象庁は同日、噴火警報（火口周辺警報）を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 3（入山規制）に引き上げました。

さらに、3 月 10 日 05 時 22 分に発生した爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 2 合目（昭和火口から 2km 付近）まで達しました。このことから、桜島の噴火活動が活発化するおそれがあると判断し、同日、火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル 3 を切り替えました。

桜島・昭和火口では、噴火回数や火山灰の量が増加するなど、噴火活動が次第に活発化する傾向が見られます。

2009 年は昭和火口で噴火※²が計 735 回発生し、その内 545 回が爆発的噴火でした（ごく小規模な噴火を除く）。



（上図）

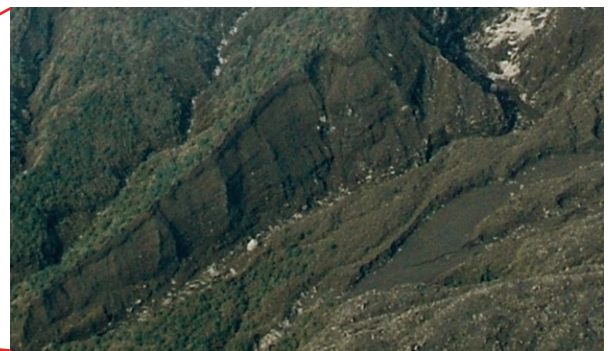
2009 年 3 月 10 日 05 時 22 分に発生した
桜島・昭和火口の爆発的噴火

（九州地方整備局大隅河川国道事務所の海湯カメラ）
黄色枠線内は噴石の飛散軌跡、先端は落下地点

（下図）

2009 年 3 月 10 日に気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測

大きな噴石の飛散が確認できる



・ 10 月 3 日の桜島・南岳山頂火口の噴火

2009 年 10 月 3 日 16 時 45 分に桜島・南岳山頂火口で爆発的噴火※¹が発生し、噴煙が火口縁上 3,000m まで上がりました。気象庁は同日、この噴火に対して降灰予報を發表しました。

3 日と 4 日に実施した電話による聞き取り調査、及び 4 日に気象庁機動調査班(JMA-MOT)が行った降灰調査では、火口の北東から南東に位置する宮崎県宮崎市や鹿児島県鹿屋市などの広い範囲で降灰を確認しました。また、桜島東部の黒神小学校(黒神町)では火山灰に混じって直径 5mm 程度の火山れきを確認しました。

なお、南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したのは 2009 年 2 月 22 日以来でした。

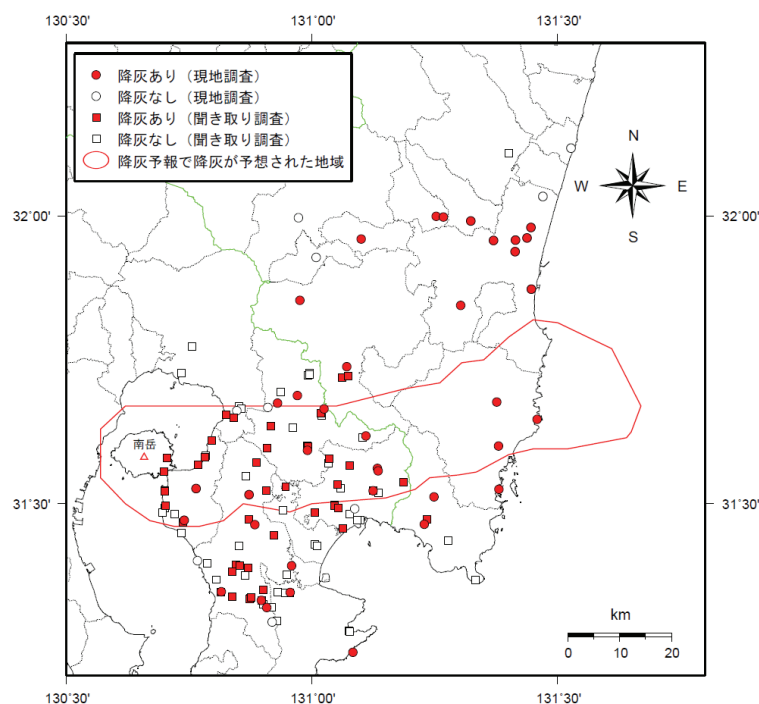
2009 年は南岳山頂火口で噴火※²が計 20 回発生し、その内 3 回が爆発的噴火でした(ごく小規模な噴火を除く)。



2009 年 10 月 3 日 16 時 45 分に発生した桜島・南岳山頂火口の爆発的噴火

(鹿児島地方気象台より撮影)

噴煙が火口縁上 3,000m まで上がり、大きな噴石が 4 合目(南岳山頂火口から 1,300~1,700m)まで達しました



10 月 3 日 16 時 45 分の噴火に伴う降灰分布と、降灰予報で降灰が予想された領域(赤線内)

火口の北東から南東にかけての広い範囲で降灰を確認しました

※1 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音または体感空振または噴石の火口外への飛散を観測、または気象台の空振計で 3 Pa 以上、あるいは島内の空振計(3 か所)のいずれかで 10 Pa 以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としています。

※2 桜島では、火山灰を含む噴煙量 3 (中量。概ね 1,000m) 以上の噴煙を観測した場合に噴火としています。